

2012年度

シンポジウム

「日本と東アジアの文化」12月22日
王敏、柴田勝二、朴裕河、タンガー・ムンフツェツェグ
司会：橋本雄一

「サルトル/バルト」12月8日
桑田光平、塚本昌則、澤田直
司会：松浦寿夫

総合文化研究所主催講演会

「ロベール・アンテルムを読む」5月17日
講演者：セルジュ・ゼンキン
司会：松浦寿夫
コメンテーター：桑田光平 森元庸介

「セザンヌー自然哲学としての芸術」6月23日
I部 座談会
講演者：岡崎幹二郎、小林康夫、松浦寿夫
II部 討論
荒川徹、佐藤雄一、林道郎、松浦寿夫

「ミラン・クンデラ 主題と変奏」6月30日
講演者：阿部賢一、西永良成、博多かおる、
マッシモ・リッツアンテ
司会：松浦寿夫

「永久凍土の国、東シベリア

ーサハ共和国の民族映画制作と伝承文学ー」10月4日
講演者：
シフツェフ、ステパン・ニコラエヴィッチ
シフツェフ・マクシーモフ、ブラスコヴィア・ヴァシリエヴナ

「イタリアのフォークロアにおける信仰と演劇性
ーサッサリ県カステルサルドを例に」10月22日
講演者：マッテオ・カザーリ

総合文化研究所共催講演会

「言語のグローバリゼーション」5月24日
(リレー講義「表象文化とグローバリゼーション」)
講演者：横山オリガ
共催：沼野恭子研究室

「バスク語から世界へ
ー作家クリメン・ウリベを迎えてー」11月6日
講演者：クリメン・ウリベ、今福龍太、金子奈美
共催：今福龍太研究室
協力：白水社、エチエバレ・インスティトゥ

「キューバにおける日本映画」11月15日
講演者：マリオ・ピエドラ
共催：スペイン語研究室

編集後記

『総合文化研究』創刊号には、ミラン・クンデラ、ウンベルト・エーコ、フアン・ゴイティソロのそうそうたる顔ぶれが寄稿した。現代ヨーロッパを代表する作家たちだ。ゴイティソロこそ翻訳がないもの、さすがは前二者の訳者たちを有する大学の雑誌だ。当時、他大学の経済学部で奉職して間もなく、学生気分も抜けきっていない私は、まぶしい思いで手に取ったものだ。これを私に手渡してくださったのは、牛島信明先生だった。「ジョックなのは、この号の寄稿者（先の三人を除く）中、私が最年長だということですよ」と嬉しそうに笑っておられた。

やがて私もこの雑誌に寄稿できる立場になった。ただし私は、良い寄稿者とは言い難い。書評を何本か書き、「論文」とは呼びがたい何ものかを一本書いたくらいだ。それなのに数ヶ月後にはもう、大学を去ろうとしている。悔やまれるのである。

それでも、大したものには残せなくとも、とりあえず名を刻み、痕跡を残した。私はゴイティソロの共同寄稿者になったのである。そして編集後記を書いている。ひよつとしたら、クンデラに寄稿願いを書いたのは私かも？ 私はエーコの友人だったのかも？ 後世の人は、そう美しく誤解してくれるかもしれない……

本号の特集テーマは「時のパースペクティヴ」である。

(柳原孝敦)

Trans-Cultural Studies No.16
総合文化研究 第 16 号

2013 年 3 月 19 日発行

責任編集 柳原孝敦

編集スタッフ 石井沙和 顧姍姍
陶山大一郎 朴翰彬
陸嬋

発行 東京外国語大学 総合文化研究所
〒183-8534 東京都府中市朝日町 3-11-1
電話 042-330-5409
Fax 042-330-5410
Web <http://www.tufs.ac.jp/common/fs/ics/>
e-mail ics@tufs.ac.jp

印刷 三鈴印刷株式会社
東京都千代田区神田神保町二丁目 32 番地 1